

看護管理 第3巻 総目次

1993年(1～7号)

(表示は、題名：筆者名、号数、開始ページ)

●特集

「問題ある」とされるナース対策

トラブルをどう診・対処するか：小池秀子，1，2.
「問題事例」を顧みる：鈴木小津江，1，9.
問題事例をオープンにして対処する：今年年恵，1，14.

効果的な院内研究

[座談会] 院内研究の現状を斬る：数間恵子・金井和子・菊地登喜子，2，64.
院内研究の目的一実りある成果を求めて：数間恵子，2，73.
院内研究の指導のあり方：小澤道子，2，78.
効果的な院内研究の実践—外部講師による研究指導の効果：上南綾子，2，83.
効果的な院内研究の実践—「患者の見える」研究を進めて：高橋千枝子，2，88.
管理側からみた院内研究の実情と今後への期待：野並葉子，2，93.

人材配置のポイント

ケアのための人材配置：穀山聡子，3，134.
個人の成長と組織の発展に結びつく人材配置—米国での体験から：押尾祥子，3，140.
人材配置—私はこうしている：青木孝子，3，149.
私の人材配置考—単科小規模病院における人材配置の意味：金井昱子，3，154.

活性化を目指す

看護組織活性化の視点—リーダーシップを中心に：吉田道雄，4，206.
管理面からみたプロジェクトのあり方：坪井博之，4，212.
活性化の取り組みを通して看護部の位置づけを明確に：國井治子，4，219.
看護の向上を目指して行なった看護管理の変革：渡辺孝子，4，224.
病院の設立理念に基づいた活性化への取り組み：日向幸子・黒岩あゆみ・佐塚道子・征矢野文恵，4，230.
地域から積極的に選択される病院づくりを目指して—ラインを軸にした委員会活動に主体的に取り組む：野元久美子，4，236.

看護管理と労働組合

〈看護管理者から〉

看護職者の自立が急務：高嶋妙子，5，284.
[インタビュー] 高嶋妙子氏に聞く，5，288.

〈労働組合から〉

労使で一致する課題は多々ある：吉津佳代子，5，290.

医療と看護を守る要求が労働組合に集中するのはなぜか：澤田稔，5，294.

看護婦の生活と権利を求めて：原和子，5，299.

〈識者から〉

看護集団の意志を尊重する：中山和久，5，303.
患者および看護婦の尊厳に向けた発想の転換を：川島みどり，5，307.

院内感染対策

[座談会] 院内感染対策—病院としての対応，看護部としての対応：北原光夫・池田京子・柴田清，6，352.

米国 ICP の活動と展望—第20回米国感染防止専門ナース協会 (APIC) 年会議に出席して：広瀬千也子，6，360.

MRSA の環境消毒—一般病室でのホルマリンガス消毒の有効性について：宮下ハツヨ・他，6，367.

MRSA 感染患者の在宅療養：宮崎和加子，6，370.
医療従事者と HIV 感染の危険性：北原光夫，6，376.

ICU の環境を考える—落下細菌法を通して汚染原因と対策の検討：吉野晴美・他，6，381.

〈資料〉東京都済生会中央病院「院内感染防止マニュアル」，6，391.

〈資料〉聖路加国際病院「院内感染予防対策」(一部)，6，415.

さまざまな看護管理教育

日本赤十字社幹部看護婦研修所：奥野茂代，7，428.

日本看護協会看護研修センター看護研修学校：松浦喜代子，7，437.

日本看護協会研修センター：柴田レイ子，7，444.
神奈川県立看護教育大学校：綿貫克子・上田規子，7，451.

●特別記事

看護をまもる戦略—看護部門の新構想：中西睦子，1，17.

P. Benner 教授特別講演

クリティカル・ケア看護における臨床技能獲得への道：山崎慶子訳，7，457.

●会議報告

第45回全国国立大学病院看護部長会議報告：鈴木一子，7，464.

●提言

安易な飛びつきはやめよう—看護提供方式の選択：永見瑠美子，2，98.

看護の専門性とは：小西恵美子，4，243.

●組織論からみた看護管理(前田マスヨ)

1. 看護管理—その変遷と展望 1，32.
2. 看護管理者の役割—構造的，機能的，職能的側面から，2，112.
3. スタッフィングに関して，3，164.
4. 看護集団の活性化，4，252.
5. 看護管理と病院経営，5，312.
6. 看護管理に関する研究 (1)，7，475.

●マネジメントに生かす海外文献

米国における今年の看護給与調査：後藤桂子訳，7，466.

●Masterたちの病棟レポート

1. プロフェッショナル・ナースを指向して：太田澄恵，2，106.
2. 修士号取得ナースの臨床での活躍を期待する：福田友栄，3，159.
3. さまざまな立場で働く修士号ナースへの理解を：グレッグ美鈴，4，247.

●中小民間・「基準看護」非採用病院における看護労働(林千冬)

4. 「看護婦」の基本的属性と職場移動の実態(下)—B，C病院「看護婦」の事例，1，44.
5. 労働条件—その実態と問題点，2，126.
6. 看護業務—その実態と問題点，3，177.
7. 「看護婦」の意識と主体性，4，268.
8. 課題と展望，5，327.

●コンピュータによる看護婦勤務表作成の隘路

1. コンピュータを導入した看護婦勤務表作成の現状と課題：竹本敬子，1，38.
2. より実用性，柔軟性の高いシステムの構築—

鹿児島大学医学部附属病院における勤務管理支援システム：宇都由美子，2，120.

3. コンピュータによる看護婦勤務割当表作成—神戸市立中央市民病院の現状と問題：佐々木悠子，3，171.
4. 滋賀医科大学医学部付属病院看護部における看護婦勤務割当表作成ワープロと統合勤務管理システム：櫻井律子，4，260.
5. 旭川医科大学医学部附属病院看護部における勤務管理支援システムの導入から改善の経緯と現況：加藤千津子，5，319.

●看護ケアの質の測定用具の開発(看護QA研究会)

1. 看護ケアの質を構成する因子の検討，3，188.
2. 看護ケアの質を構成する因子の検討，4，274.
3. 看護ケアの質を構成する因子の検討，5，340.
4. 看護ケアの質を構成する因子の検討，7，494.

●研究・調査・実践

看護業務に関わる院内設備・体制の実態：菅田勝也・高橋美智・藤枝知子・坊城中子・宮本昭子，1，52.

急性期の高齢患者のケアのあり方に関する研究・2看護指針の使用の有無による患者の回復状況の分析：中西睦子・栗屋典子・黒田裕子・上泉和子・前田夏実・佐藤栄子・眞嶋朋子・眞壁玲子・荻野雅，1，56.

婦長を補佐するってどうすること？ 看護管理研修受講生の実践報告：畑尾明美・中村朱美，3，193.

看護婦の職務満足に関する検討—1991年の実態について：深澤佳代子・茂野テル子，3，199.

婦長の職務意識調査：大阪府公立病院協議会総婦長部会，5，334.

看護婦の資質に関する調査—臨床能力の修得段階と発展過程：神戸市立中央市民病院看護部平成3年度プライマリナースング検討委員会，7，480.

外来看護業務分析から看護要員の配置を考える：木下由美子，7，487.

●Book Review

在宅マニュアル：評者守山伸子，2，105.

看護臨床指導のダイナミックス(第2版)：評者中村淑子，4，266.

看護情報のシステム化：評者吉井良子，4，267.

バイオエシックス—生物学から倫理へ：評者澤田愛子，5，338.